

## 津波被災の自転車施設再開 宮城・閉上

2020/10/3 14:48 | 日本経済新聞 電子版

東日本大震災の津波で全壊した、宮城県名取市閉上（ゆりあげ）地区の市サイクルスポーツセンターは大規模改修を経て3日、約9年半ぶりに再開した。海沿いにある約4キロの周回コースでは、家族連れらがレンタルするなどした自転車でサイクリングを楽しんだ。

4階建ての宿泊管理棟は津波襲来時、3階以上に1200人を収容する避難ビルを兼ねる。

記念式典で山田司郎市長は「ハード面の復興事業はほぼ完了した。センターは国内外の観光客に魅力を感じてもらおう復興のシンボルとなる」とあいさつした。

約3万5千平方メートルの敷地には3人制バスケットボールやフットサルのコート、スケートボード場も備える。宿泊管理棟の温泉は、市がクラウドファンディングで資金を募り掘り当てた。

センターは仙台空港の北東約4キロに位置し、1975年開業。東北唯一の自転車専用施設として親しまれ、最盛期の82年には約5万4500人が訪れた。〔共同〕



宮城県名取市閉上地区で再開した市サイクルスポーツセンターで、自転車に乗る利用客（3日午後）＝共同

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。